

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成30年2月14日

【四半期会計期間】 第69期第3四半期(自平成29年10月1日至平成29年12月31日)

【会社名】 株式会社フジマック

【英訳名】 FUJIMAK CORPORATION

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 熊谷 俊範

【本店の所在の場所】 東京都港区新橋五丁目14番5号

【電話番号】 03 - 3434 - 7791

【事務連絡者氏名】 総務部長 岡部 伸二

【最寄りの連絡場所】 東京都港区新橋五丁目14番5号

【電話番号】 03 - 3434 - 7791

【事務連絡者氏名】 総務部長 岡部 伸二

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第68期 第3四半期 連結累計期間	第69期 第3四半期 連結累計期間	第68期
会計期間	自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日	自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日	自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日
売上高 (千円)	25,588,609	26,931,757	36,094,338
経常利益 (千円)	1,370,355	1,886,036	2,270,706
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益 (千円)	924,274	1,253,510	1,502,887
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	873,687	1,541,218	1,490,033
純資産額 (千円)	14,408,489	16,401,797	15,024,685
総資産額 (千円)	30,365,554	34,316,159	32,622,998
1株当たり四半期(当期) 純利益金額 (円)	141.04	191.28	229.33
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)			
自己資本比率 (%)	47.5	47.8	46.1

回次	第68期 第3四半期 連結会計期間	第69期 第3四半期 連結会計期間
会計期間	自 平成28年10月1日 至 平成28年12月31日	自 平成29年10月1日 至 平成29年12月31日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	72.50	63.02

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況は存在していません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 経営成績の分析

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、企業収益、雇用情勢が堅調に推移したほか、第1四半期連結累計期間には前年比マイナスであった機械受注も持ち直すなど設備投資も上向き、企業部門・家計部門とも緩やかな回復基調を維持し、引続き全体として堅調に推移いたしました。

世界経済は、米国が生産・輸出とも回復基調にあり、雇用や所得環境も改善していることから、財政面の下支えがなくとも相応の成長が期待されています。欧州経済は依然としてサービス業の業績が一進一退で、ユーロ相場の動向次第では先行きの輸出に不安は残るものの、景気全体に対する下押し圧力は限定的と見られ現況に大きな変動はない見通しです。中国は、民間、国有企業とも固定資産投資がスローダウンしており、再び減速局面に入ったとの見方が大方ですが、当面は良好な雇用環境・所得環境を背景に個人消費が景気を下支えし、その減速は緩やかなものに留まる見通しです。

このような環境下、当社グループは、外食産業、ホテル・旅館等宿泊施設、レストラン業界、レジャー産業、病院、福祉施設、教育施設、さらにはセントラルキッチン、食品工場などの各マーケットにおける多種多様なニーズ、夫々のお客様ごとのご要望に適確にお応えすべく、生産、物流、設計、施工、営業、サービスの一貫体制を強化してまいりました。

こうしたことから、当第3四半期連結累計期間の売上高は269億3千1百万円（前年同期比5.2%増）となりました。利益面につきましては、経常利益は18億8千6百万円（前年同期比37.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は12億5千3百万円（前年同期比35.6%増）となりました。

なお、当社及び連結子会社の事業は、業務用厨房機器の製造・販売及び保守修理であり、単一のセグメントであります。

(2) 財政状態の分析

当第3四半期連結会計期間末の財政状態につきましては、総資産は、現預金・棚卸資産・無形固定資産の増加、売上債権・有形固定資産の減少等の結果、前連結会計年度末比16億9千3百万円増の343億1千6百万円となりました。負債につきましては、支払手形・買掛金の増加、賞与引当金の減少等により、前連結会計年度末比3億1千6百万円増の179億1千4百万円となりました。純資産は、前連結会計年度末比13億7千7百万円増の164億1百万円となりました。

(3) 経営方針・経営戦略等

当第3四半期連結累計期間において、当社グループの経営方針・経営戦略等について重要な変更はありません。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(5) 研究開発活動

当第3四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は、1億7千万円であります。
なお、当第3四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

(6) 従業員数

当第3四半期連結累計期間において、連結会社又は提出会社の従業員数に著しい増減はありません。

(7) 生産、受注及び販売の実績

当第3四半期連結累計期間において、生産、受注及び販売の実績に著しい変動はありません。

(8) 主要な設備

新設、休止、大規模改修、除却、売却等について、当第3四半期連結累計期間に著しい変動があった設備、あるいは変動を予定している設備は、次のとおりであります。

株式会社フジマックの東京営業部・第三部の旧事務所ビル（東京都港区南麻布1丁目7番23号）について、老朽化に伴う建替えを計画しており、当該建物は近く取壊しを行う予定であることから、除却予定の固定資産の簿価相当額（約19百万円）を当第3四半期連結累計期間に減損処理しております。取壊し後には、当該敷地（約83坪）に新たに建物（延床500坪程度）を建築する予定ですが、既存建物の解体・撤去費用を含め、具体的な建替え計画については現在策定中につき、現時点で詳細は未定であります。建替え計画が確定次第、開示すべき事項があれば、速やかに開示させていただきます。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	25,000,000
計	25,000,000

【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成29年12月31日)	提出日現在 発行数(株) (平成30年2月14日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	7,136,000	7,136,000	東京証券取引所 市場第二部	単元株式数100株
計	7,136,000	7,136,000		

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成29年10月1日～ 平成29年12月31日		7,136,000		1,471,150		1,148,365

(6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(平成29年9月30日)に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成29年12月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 582,700		
完全議決権株式(その他)	普通株式 6,551,300	65,513	
単元未満株式	普通株式 2,000		一単元(100株)未満の株式
発行済株式総数	7,136,000		
総株主の議決権		65,513	

【自己株式等】

平成29年12月31日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
株式会社フジマック	東京都港区新橋 五丁目14番5号	582,700		582,700	8.17
計		582,700		582,700	8.17

2 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間において役員の異動はありません。

第4 【経理の状況】

1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（平成29年10月1日から平成29年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成29年4月1日から平成29年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,188,755	9,719,274
受取手形及び売掛金	7,715,419	6,789,942
商品及び製品	2,402,160	3,481,994
仕掛品	66,925	89,109
原材料及び貯蔵品	1,161,481	1,018,950
その他	980,252	684,483
貸倒引当金	6,430	9,189
流動資産合計	20,508,564	21,774,566
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	5,284,306	5,477,861
減価償却累計額	2,166,128	2,320,885
建物及び構築物(純額)	3,118,177	3,156,975
機械装置及び運搬具	4,130,878	4,149,854
減価償却累計額	3,013,912	3,028,733
機械装置及び運搬具(純額)	1,116,966	1,121,120
土地	3,993,344	4,023,389
その他	1,841,323	1,743,627
減価償却累計額	1,448,378	1,498,160
その他(純額)	392,944	245,467
有形固定資産合計	8,621,433	8,546,952
無形固定資産	143,078	302,117
投資その他の資産		
投資有価証券	1,741,634	2,071,469
その他	1,704,807	1,720,390
貸倒引当金	96,519	99,337
投資その他の資産合計	3,349,922	3,692,522
固定資産合計	12,114,434	12,541,592
資産合計	32,622,998	34,316,159

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,753,919	9,312,107
1年内返済予定の長期借入金	782,344	742,147
未払法人税等	388,537	285,190
賞与引当金	448,826	183,320
役員賞与引当金	37,718	37,987
製品保証引当金	84,200	85,800
その他	1,575,505	1,641,973
流動負債合計	12,071,050	12,288,526
固定負債		
社債	1,000,000	1,000,000
長期借入金	2,825,638	2,846,112
退職給付に係る負債	125,278	118,445
その他	1,576,346	1,661,276
固定負債合計	5,527,262	5,625,835
負債合計	17,598,313	17,914,361
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,471,150	1,471,150
資本剰余金	1,148,365	1,148,365
利益剰余金	10,241,167	11,330,844
自己株式	441,523	441,796
株主資本合計	12,419,160	13,508,564
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	745,246	967,584
土地再評価差額金	1,727,717	1,727,717
為替換算調整勘定	132,561	197,931
その他の包括利益累計額合計	2,605,524	2,893,233
純資産合計	15,024,685	16,401,797
負債純資産合計	32,622,998	34,316,159

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

	(単位：千円)	
	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	25,588,609	26,931,757
売上原価	17,198,505	17,892,797
売上総利益	8,390,103	9,038,959
販売費及び一般管理費	7,084,498	7,238,548
営業利益	1,305,605	1,800,411
営業外収益		
受取利息	2,744	7,983
受取配当金	19,511	22,625
受取手数料	31,854	15,140
受取賃貸料	26,992	30,372
保険解約返戻金	29,753	-
その他	28,109	49,706
営業外収益合計	138,966	125,827
営業外費用		
支払利息	39,649	30,467
為替差損	13,953	-
その他	20,614	9,734
営業外費用合計	74,216	40,202
経常利益	1,370,355	1,886,036
特別利益		
固定資産売却益	751	634
投資有価証券売却益	0	7,853
厚生年金基金解散損失引当金戻入額	89,939	-
特別利益合計	90,692	8,488
特別損失		
減損損失	-	19,046
固定資産除却損	729	1,753
固定資産売却損	50	8,309
その他	-	0
特別損失合計	779	29,109
税金等調整前四半期純利益	1,460,268	1,865,414
法人税、住民税及び事業税	361,151	500,171
法人税等調整額	174,842	111,732
法人税等合計	535,994	611,903
四半期純利益	924,274	1,253,510
親会社株主に帰属する四半期純利益	924,274	1,253,510

【四半期連結包括利益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
四半期純利益	924,274	1,253,510
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	32,049	222,337
為替換算調整勘定	18,536	65,370
その他の包括利益合計	50,586	287,708
四半期包括利益	873,687	1,541,218
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	873,687	1,541,218
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

四半期連結会計期間末日満期手形及び債務のファクタリングの会計処理については、満期日に決済が行われたものとして処理しております。

なお、当第3四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形及び債務のファクタリングを満期日に決済が行われたものとして処理しております。

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
受取手形	千円	54,230千円
支払手形及び買掛金	"	969,274 "
その他(設備関係支払手形)	"	3,078 "

(四半期連結損益計算書関係)

注記すべき事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
減価償却費	475,835千円	462,385千円

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成28年6月29日 定時株主総会	普通株式	131,069	20	平成28年3月31日	平成28年6月30日	利益剰余金

当第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年12月31日)

配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成29年6月29日 定時株主総会	普通株式	163,833	25	平成29年3月31日	平成29年6月30日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)

当社及び連結子会社の事業は、業務用厨房機器の製造・販売及び保守修理であり、単一のセグメントであるため記載を省略しております。

当第3四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)

当社及び連結子会社の事業は、業務用厨房機器の製造・販売及び保守修理であり、単一のセグメントであるため記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)
1株当たり四半期純利益金額	141円04銭	191円28銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益金額(千円)	924,274	1,253,510
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る親会社株主に 帰属する四半期純利益金額(千円)	924,274	1,253,510
普通株式の期中平均株式数(株)	6,553,490	6,553,275

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成30年 2月13日

株式会社フジマック
取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 小 野 英 樹 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 渡 辺 雅 子 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社フジマックの平成29年4月1日から平成30年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間(平成29年10月1日から平成29年12月31日まで)及び第3四半期連結累計期間(平成29年4月1日から平成29年12月31日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社フジマック及び連結子会社の平成29年12月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。